

## 第 18 回 大会宣言

現代の「大逆事件」ともいえるような、全日建関西生コン支部に対する警察権力の弾圧が続いています。2012年12月から始まった第2次安倍政権の長期政権が続く中、こうした露骨な弾圧が臆面もなく行われるようになりました。また、世界中で格差が拡大し、対立が煽られて分断が進み、閉塞感が蔓延しています。

まさに、今だけ・カネだけ・自分だけ、という世相が広がっています。

しかしこうした中、社会から隔離し孤立して生活していた人たちに仕事を与えるいたみワーカーズコープの取り組みは、人と地域へのかかわりを取り戻し、生きる喜びを与えています。

また、8月に台湾で開催されたレイバーノーツの世界大会にユニオンみえシャープピノユニティの仲間が参加し、世界各地の労働者と連帯して抗議行動を行ったことは、国境を越えて労働者の生活を蝕む経済のグローバル化に対抗するひとつの答えであり希望となっています。

私たちの前だけではなく後ろに道ができ希望が生まれる、それが全国ユニオンの運動です。その運動を強化し進めていくためには、1日も早く1万人の全国ユニオンを達成することが必要です。

全国ユニオンが結成以来、訴え続けてきた「あらゆる働き方の労働者に権利を」を進化・強化し、これまで同様に非正規労働者の組織化や権利確立に取り組むとともに、いわゆる雇用によらない働き方で働く者の仲間づくりに取り組んでいきます。また、移住労働者の仲間づくりを強化します。

社会で、地域で、職場で、労働組合にできること、全国ユニオンにできることを追求し展開してきましたが、困難な時代だからこそ、明るく・激しく・楽しくより一層、躍動する運動を進めていこう。

労働運動の主人公は、一人ひとりの労働者です。“絶望の世界”に一人ひとりの労働者が、一筋の光明となる運動をつくり、進めていこう。

以上、宣言する。

2019年8月31日

全国ユニオン 第18回定期大会